

長野県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部 大会運営わたる要項

1 大会出場数・出場資格

以下に掲げる大会については、長野県高等学校体育連盟登録、日本ソフトテニス連盟会員登録を行ったものに参加資格を与える。その他の条件については、上位大会に準ずる。

(1) 長野県高等学校総合体育大会 ソフトテニス競技大会

- ① 団体戦は、各地区予選会を経た学校で、各地区上位 8 チームに与える。
- ② 個人戦は、各地区予選会を経た選手で、各地区上位 1 6 ペアに与える。
- ③ 各地区予選会の方法は、地区に一任する。

(2) 長野県高等学校新人体育大会 ソフトテニス競技大会

- ① 団体戦は、各地区予選会を経た学校で、上位 8 チームに与える。その数には、連合チーム、複数チームも含む。
- ② 個人戦は、各地区予選会を経た選手で、各地区上位 1 6 ペアに与える。その数には、連合ペアも含む。
- ③ 複数チーム、連合チーム、連合ペア、人数不足のチームについて参加を認めるが、別途細則による。
- ④ 各地区予選会の方法は、地区に一任する。

(3) 長野県高等学校選抜ソフトテニス大会

- ① 団体戦には、上記(2)大会上位 4 チームを推薦出場とする。
 - ② 団体戦には上記①に加え、各地区予選会上位 3 チームに出場の権利を与える。
 - ③ 連合チーム、複数チームが上記(2)大会において、上位 4 チームに入賞した場合、そのチームが所属する地区にその数を加える。
 - ④ 個人戦には、上記(2)大会において、上位 1 6 ペアを推薦出場とする。
 - ⑤ 個人戦には、上記④に加え、各地区予選会上位 8 ペアに出場の権利を与える。
 - ⑥ 各地区予選会の方法は、地区に一任する。
- #### (4) 長野県高等学校ソフトテニスシングルス大会
- ① 各地区予選会を経た選手で、上位 8 人に与える。
 - ② 各地区予選会の方法は、地区に一任する。

2 監督・ベンチ入り指導者

(1) 監督について

- ① 団体戦に出場する学校またはチームは、男女別にそれぞれ監督を定め選手とともに整列すること。やむをえない事情が生じ、それぞれに監督が定められない場合、申込時または大会当日受付終了時まで、競技委員長に申し出て審議の対象とする。
- ② 監督は学校長の認めた指導者(顧問・外部指導者)とし、外部指導者の場合は、長野県高等学校体育連盟発出の契約書を学校長と締結した上で、専門部所定の様式を用い届け出ること。
- ③ 監督の変更については選手変更に準ずるが、大会が複数日にまたがる場合、中途での変更はできない。

(2) ベンチ入り指導者について

① ベンチ入り指導者は学校長の認めた指導者（顧問・外部指導者）とし、外部指導者の場合は、長野県高等学校体育連盟発出の契約書を学校長と締結した上で、専門部所定の様式を用い届け出ること。

② ベンチ入り指導者の変更については選手変更に準ずる。

③ ベンチ入り指導者は出場申込と同時に申し込むとする。男女重複は認めるが、それぞれ最大 4 名とし、参加ペア数を超えてはならない。

3 選手変更

（1）団体戦、個人戦とも出場が困難である場合、所定の用紙を用い競技連絡会または受付終了時までに競技委員長に申し出ることによって審議の対象とする。それ以降については理由の如何を問わず認めない。

（2）団体戦、個人戦ともプログラム編成以前に棄権が明らかになった場合、その補充は行わない。

附則 本規約は、令和 5 年 4 月 1 日より実施する。

長野県高等学校新人体育大会 ソフトテニス競技大会 細則

長野県高等学校新人体育大会への参加資格は、「長野県高等学校新人体育大会 参加資格(各競技共通)」に準ずるが、生徒減による複数校の合同チームと全日制課程・定時制課程・通信制課程の混成チーム出場については、以下のルールで行う。ただし、定通大会に参加した場合は、出場できない。

【全 体】

原則として、個人戦・団体戦とも、合同チーム・混成チームの出場を認める。また、団体戦において同一校の複数チーム出場も認める。ただしこの規定は、出場の機会に恵まれない選手に出場機会をつくることを目的としている。よって、この精神に反したチーム編成は認められない。

【団体戦】

- ① 団体戦は選手6名～8名、監督1名を持って1チームとする。
- ② 個人戦で6組以上出場できる学校は、団体戦においてA・B2チームの出場を認める。また、9組以上出場できる学校は、団体戦においてA・B・C 3チームの出場を認める(Dチーム以下同様)。その際、各校で強い方のチームからAチームとする。申し込みは認知書A欄(団体戦出場選手記入欄)に、Aチームとして出場する選手はA、Bチームとして出場する選手はB(C以下同様)とそれぞれ記入の上行う。尚、地区大会への申し込み後、チーム間での選手の入れ替えはできない。また、県大会に出場する場合でも、地区大会へ申し込んだチーム間での選手の入れ替えはできない。
- ③ 選手が6名に満たず(5名以下)団体チームを編成できない学校は、他の同様な学校と合同チームを作ることができる。申し込みは、選手名を記入し「合同チーム希望」と明記の上行う。
- ④ 合同チームの編成は専門部が行う。編成上、以下の点に留意する。
 - A 選手6～8名になる組合せで責任抽選を行う。
 - B 8名を超える組合せしかできない場合(合同希望が2校あり、A高校5人、B高校4人などの場合)、または合同希望が1チームしかない場合には、5名または4名でも1チームとして出場を認める。
 - C 4名または5名のチームが多数ある場合、できるだけ6～8名で出場できるように合同を組む。無理なく合同チームが組めない人数・チーム数の場合は、専門委員の合議により、5名または4名でも1チームとして出場を認める場合がある。
 - D 監督1名を合同チーム間の話し合いで決定し、ベンチ入りを認める。
 - E 特例として、3名の学校が3校ある場合には9名で1チームとしての出場を認める。(注) 合同チームは人数によって編成できない場合もあり得る。
- ⑤ 団体戦に単独チームで出場することのできる学校に所属する選手で、団体のメンバーに入っていない選手は、他の学校の選手と混成チーム・合同チームで出場することはできない。
- ⑥ 混成チームの編成・申し込みは、上記に準ずる。
- ⑦ 欠員が生じた場合の救済措置
 - A 申し込み時に6名以上であったチームが、大会当日に欠員が生じ、5名または4名になった場合は救済措置として出場を認める。
 - B 同様に、参加が認められていた5名のチームが1名欠けて4名になった場合も出場を認める。
- ⑧ 勝敗の決め方について…①4名対4名の場合に1-1となった場合は、前の2対戦とは異なるペア

で第3対戦を行う。②4名対5名の場合に1-1となった場合は、4名のチームは前の2対戦とは異なるペアで、5名チームは前の2対戦に出場していない1名と前の2対戦に出場した1名とペアを組み第3対戦を行う。尚、予めオーダー提出時に第3対戦のペアも明記する。

【個人戦】

- ① プレーヤーの人数が奇数のため同一校内でペアを組むことができない校内ランキング最下位の選手は、他校の同様な選手と合同ペアを組むことができる。
- ② 申し込みは、各校のランキングに従って1番から順にペアを記入し、合同ペアを希望する選手は、その一番最後に記入し「合同ペア希望」と書き添えること。
- ③ 合同ペアの編成は専門部が行う。（注）合同ペアは人数によって編成できない場合もあり得る。
- ④ 混成ペアの編成・申し込みは、上記に準ずる。

【注意】

- ① 各校顧問は、このルール of 趣旨を良く理解した上で、教育的な配慮のもと、申し込みをすること。
- ② 顧問会において、意図的にこのルール of 趣旨に反するような申し込みをしたと判断された場合は、当該校に対して次の大会からの出場を制限する場合がある。

2012(H24). 6.1 改訂

2012(H24). 11.12 改訂

2014(H26). 4.15 改訂

2015(H27). 8.31 改訂

1 長野県高等学校総合体育大会 ソフトテニス競技大会 (R6 年度大会より実施)

① 団体戦

- 1 県選抜大会の結果をもとに第1シードから第4シードまで入れる
 - 第1シード 県選抜大会優勝地区
 - 第2シード 同2位地区
 - 第3シード 同3位地区
 - 第4シード 同4位地区
- 2 第5シード～第16シードまでについては、残っている各地区ベスト4まで(計12校)を地区順位、地区バランスを考慮して、抽選、配置していく。(例えば、A地区2位がA地区1位より上位シードに入ることはない。)第1～第16シードまで入った時、各地区は左右両側に2校ずつ、かつ、ベスト4の山に1校ずつとなるようにバランスを見る。(各地区の1位2位が片側に入ることもある)
- 3 第16シードまで入ったら、各地区残りは5位～8位校となり、すべて抽選により入れていくが、各地区参加校はすべてのブロックに分かれるようにする。地区バランスを優先させるため、必ずしも「第29～32シードに各地区8位校が入る」ということにはならない。第17シード以降すべて同様。

② 個人戦

個人戦は団体戦と同様な考え方

- 1 県選抜大会の結果をもとに第1シードから第8シードまで入れる
 - 第1シード 県選抜大会優勝地区
 - 第2シード 同2位地区
 - 第3シード 同3位地区
 - 第4シード 同4位地区以下、第8シードまで同様に配置する
- 2 第9シード～第32シードについては、地区順位、地区バランスを考慮して抽選し、配置していく。(例えば、A地区2位がA地区1位より上位シードに入ることはない。)第1～第32シードまで入った時、各地区は左右両側4ペアずつ、かつ、ベスト8の山に1ペアずつとなるようにバランスを見る。(各地区の1位2位が片側に入ることもある)
- 3 第32シードまで入ったら、各地区残り8ペアずつとなり、すべて抽選により入れていくが、各地区参加校はすべてのブロックに分かれるようにする。地区バランスを優先させるため、必ずしも「第61～64シードに各地区16位ペアが入る」ということにはならない。

2 長野県高等学校新人体育大会 ソフトテニス競技大会 (R5年度大会より実施)

① 団体戦

- 1 県総体の結果をもとに総体優勝地区の1位チームを第1シードに入れる。
 - ・第1シード 県総体優勝地区の1位チーム
 - ・第2～第4シード 抽選 (抽選順 予備抽選⇒本抽選の順に行う)
第1シード=A地区 第2シード=B地区 第3シード=C地区 第4シード=D地区
- 2 各地区2位校から8位校まですべて抽選により入れていくが、各地区参加校はすべてのブロックに均等に分かれるようにする(1回戦は地区1位校対地区8位校、地区2位校対地区7位校、地区3位校対地区6位校 以下同様)
同一校において複数チームが参加する場合もシード順は変更しない。

② 個人戦

個人戦は団体戦と同様な考え方

- 1 県総体の結果をもとに総体優勝地区の1位ペアを第1シードに入れる。
 - ・第1シード 県総体優勝地区の1位ペア
 - ・第2～第4シード 抽選 (抽選順 予備抽選⇒本抽選の順に行う)
第1シード=A地区 第2シード=B地区 第3シード=C地区 第4シード=D地区
- 2 各地区2位から16位まですべて抽選により入れていくが、各地区参加ペアはすべてのブロックに均等に分かれるようにする(1回戦は地区1位対地区16位、地区2位対地区15位、地区3位対地区14位 以下同様)
個人戦の同一校の偏りは可能な限り解消する。

3 長野県高等学校選抜ソフトテニス大会（R5年度大会より実施）

① 団体戦

県大会にはスーパーシード（以後SS）4校+各地区3校=16校が参加する。

- 1 SSを第1シード=県新人1位校、第2シード=県新人2位校・・・と第4シードまで入れる。
- 2 第5シード以降については、以下のとおりとする。
抽選により各地区1位校を第5シード～第8シードに入れる。
以下、地区順位、地区バランスを考慮して、抽選、配置していく。

② 個人戦

県大会にはスーパーシード（以後SS）16ペア+各地区8ペア=48ペアが参加する。

- 1 SSを第1シード=県新人1位ペア、第2シード=県新人2位ペア・・・と第16シードまで入れる。
- 2 第17シード以降については、以下のとおりとする。
抽選により各地区1位校を第17シード～第20シードに入れる。
以下、地区順位、地区バランスを考慮して、抽選、配置していく。

4 長野県高等学校ソフトテニスシングルス大会

1 各地区8名が出場する

第1～第4シード 抽選（抽選順 予備抽選⇒本抽選の順に行う）

第1シード=A地区 第2シード=B地区 第3シード=C地区 第4シード=D地区

その後は配置表にしたがって入れていく。〔別紙 シングルス組み合わせ配置表〕

2 同一校の偏りは可能な範囲で考慮することがある。

附則 本規約は、令和5年4月1日より実施する。